

向陽中学校だより<第8号>



走れ向陽!

～夢の実現めざして～

<学校目標> 「知性」「品格」「至誠」「体力」を身につけた活力ある生徒
<重点目標> 他とつながり、自己の目標達成に向け全力で努力できる

平成29年 8月25日(金)
<発行者>校長 箭内仁史
〒976-0037
相馬市中野字桜町76
TEL35-2348 Fax35-2849

～2学期がスタート<実り多い学期に>～

35日の長い夏休みも終わり、今日から第2学期がスタートしました。今年の夏休みは不順な天候が続きましたが、子ども達は一段とたくましくなり元気な姿を見せてくれました。ご家庭でのご指導に感謝申し上げます。休み中の中体連県大会では、相双の代表として最後まで粘り強いプレーを見せてくれました。ご家庭の方々の声援も会場に響き渡っていました。さらには柔道で3年生の〇〇君の全国大会出場を始め、柔道で女子団体と個人で〇〇君、〇〇君、陸上で〇〇さん、水泳で〇〇さんが東北大会に出場し、向陽中の名に恥じないよう力を出し切りしました。また、早朝から駅伝の練習や常設部の練習、英語弁論大会の練習等にも頑張りました。3年生も進路実現に向け、高校の体験入学、サマースクールに真剣に取り組みました。漢字検定にもたくさんの生徒が挑戦しました。



P T Aの皆様には雨の中、段ボール回収、校外補導、相馬市盆踊りでの巡回補導等多方面でお世話になりました。改めて皆様のご協力、応援に心より感謝申し上げます。

2学期は職場体験や駅伝、向陽祭、3年生の進路選択等大きな行事が目白押しです。生徒の社会性の育成や授業の充実にも一層力を入れていきます。特に、読解して、あるいは対話を通して自分の意見をまとめる力や書く力、新聞に毎日1回は目を通す習慣を身につけさせたいと思います。2学期も保護者の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

期待外れと希望 (始業式式辞の一部)

さて、2学期のスタートにあたって「期待」についてお話しします。期待とは「あてにしてみよう」という意味です。期待外れだったという人は、あてにしていたのにあてが外れたということでしょう。そこで期待外れと感じた時のためにお話をします。

昔、日本のある繊維会社が服にする布地を海外に輸出しようとしてアフリカのある国へ二人のセールスマンを派遣しました。しばらくして一人のセールスマンから会社にかかってきました。「社長、絶望的です。この国の人は、まだ誰も服らしい服を着ていません」と。その後、同じ国に派遣したもう一人の社員から電話がかかってきました。「社長、最高です。この国の人はまだ誰もきちんとした服を着ていません」と。

二人の違いがわかりますか。最初に電話したセールスマンは、期待はずれだったことに絶望しているのです。皆が当然服を着ていたら、自分の会社のいい布地が売れるだろうと思っていたのに、誰も着ていない、どうやって売ればいいかわからないので「絶望」してしまいうです。後で電話したセールスマンは、とにかくどんな方法でも売ることが目的だから、誰も服を着ていないこの国では皆買ってくれるだろうと思って「最高」と電話したのです。

皆さんはどうでしょうか。自分の学級や部活動が期待にそぐわないとき、「ああがっかりだ」と思いますか。これは先ほどのセールスマンと同じです。中学校や誰かが自分に何かをしてくれることだけを期待しているだけでは、期待外れがあるかもしれません。自分に何ができるかを考えると、期待外れが「希望」に変わります。一人では難しくても仲間を増やせばきっといい方向に変化させることができます。ただ待っているのではなく、今日から新しい「希望」に向けて仲間とともにスタートしましょう。

裏面もご覧ください

1日(金)	教育相談(8/29～)	22日(金)	中間テスト
4日(月)	防災訓練	23日(土)	㊦ 秋分の日
6日(水)	相双駅伝大会		相P連研究大会鹿島大会
7日(木)	3年将来設計講座	25日(月)	3年実力テスト(予定)
12日(水)	2年職場体験(～13日)	26日(火)	3年職業講話
18日(月)	㊦ 敬老の日	30日(土)	P T A 資源物回収

〔8,9月〕学校経営の重点

～「夏に鍛えた」成果を生かし、「充実の2学期」への好スタートを～

- 8月の学校生活目標「自律的で心身ともに健康な夏休みを送ることができる」
☆実践の重点<自分の生活に適した生活のリズムづくり、社会・地域の一員である自覚>・必要に応じた個別指導・部活動での指導・家庭学習の習慣化
※問題傾向をもつ生徒の訪問や連絡を取り合う指導を行う。
- 9月の学校生活目標「夏休みの生活を反省し、規律ある学校生活を送ることができる」
☆実践の重点<時間、きまりを守る意義、協力して学校生活を作り上げる工夫 ☆『いじめアンケート』の実施>
・服装、言葉遣い、持ち物・交友関係、家庭環境の変化・行事への参加
・授業中の態度 ※生徒一人一人の心身の成長を考慮に入れた指導を行う。

1 2学期（授業日数82日）の目標・めあてづくり

1学期の反省を生かし、夏休みの諸活動を自信につなげ、「豊かな実りと充実」の2学期になるようにしっかりとしたスタートを切りたい。

- (1) 2学期「どんな学級作り」「どんな生徒の育成」を目指すのか？
○ 学級担任としての考えや願い。→生徒に伝え、話し合う。
○ 教師と生徒が共通認識に立って。→一人一人に実現可能な目標やめあてを作る。
○ 担任としての継続的な声かけ。→どの子にもやる気を喚起する。
- (2) 2学期の目標・めあてを生徒自身にじっくり決めさせ、その実現を決意させる。
○ 1学期の反省、夏休みの成果や反省を生かす。
○ 生活面、学習面、運動面、心の面などいくつかの観点を設ける。
○ 特に3年生は、進路を決定する大事な時期。生徒と保護者と十分に話し合い進路目標を明確にする。→最大の努力をさせる。

2 「充実の2学期」になるよう具体的な取り組み

- (1) 一人一人の生徒に「確かな学力」の定着を → 授業で勝負！
○ 自ら考え、学び合いのある授業、意欲や質問を大切にした授業。
○ 個に応じた指導法の実践、主体的な学習態度の育成。
※少人数学級にただで学力が上がるのか？
→・教員の指導力の向上・指導方法の工夫・弾力的運用
(教材の研究・開発 ワークシートの工夫 学習形態の工夫 TT、習熟度別生徒同士の学び合い)
○ 毎日毎日の宿題・課題・自主学習・家庭学習の積み重ね
※「教師自身の指導意欲が、生徒の学習意欲を喚起する。」
○ 新聞の活用
○ 現職教育研究授業の実践
「生徒全員が学ぶ喜びを感じる学習指導」(＝一人も見捨てない)
～自己の意見を持ち、聴き合いながら問題解決する指導の在り方～

◇11/8(水)2年福島県学力調査
◇12/15(金)全学年相馬市学力調査(学力コンクール)

- (2) 生徒の成長に視点を当てた、深く豊かな教育活動の展開を
○ 体験・学習活動(総合的な学習、委員会・生徒会活動、職場体験学習など)
○ 文化・芸術(相新音楽祭、向陽祭など)
○ 運動・スポーツ(相双駅伝大会、新人大会など)
○ 豊かな人間性の育成(道徳の時間の充実、朝の読書、部活動、友達関係など)
- (3) 生徒指導の充実を
○ いじめアンケートや教育相談の活用
○ 不登校、いじめ、校内暴力のない向陽中を目指して
→目的を持たせて、「居場所づくり」と「絆づくり」
○ 「手を離しても目を離さず、目を離しても心を離さず」
○ SC、SSW、ふれあい広場等との関係機関との更なる連携
- (4) 「豊かな実りと充実」を実現させる学習環境作りを → 環境が人をつくる
○ 掃除の徹底、時季に応じた校内の諸掲示、教室内の掲示
○ 教室や特別教室、校舎周辺などの整理整頓
○ 笑い声のある、花が咲き、歌声の響く向陽中
- (5) 給食指導、食に関する指導の充実
○ 学期始めの衛生管理の徹底 ○給食指導の徹底、食に関する指導の工夫